

設計部門の効率化をデジタルイノベーションで推進

## 設計改革コンサルティング — 設計開発部門の改革支援 —

設計部門の潜在的課題を抽出し、解決策を立案することで  
生産性の向上と働き方改革の推進を支援

製品の多機能化、開発期間の短縮などといった顧客ニーズの多様化に加え、海外における新規市場の開拓への対応など、設計部門の生産性向上が急務となっています。しかしながら設計部門の現状は、既存製品の品質対策やトレーサビリティ確認などに追われ、生産性向上のためのアクションがとりにくいだけでなく、働き方改革も進めることが困難な状況です。

当社では、このような状況を打破するため、設計者に密着した業務アセスメントから、自動化（デジタル化）、外注化、やめる化の解決手段提案までを一気通貫で支援します。早期解決策(Quick Win)を実施することで、設計者の満足度を向上しつつ、次なる改善のための時間を産み出し、自主改善の定着を促進します。

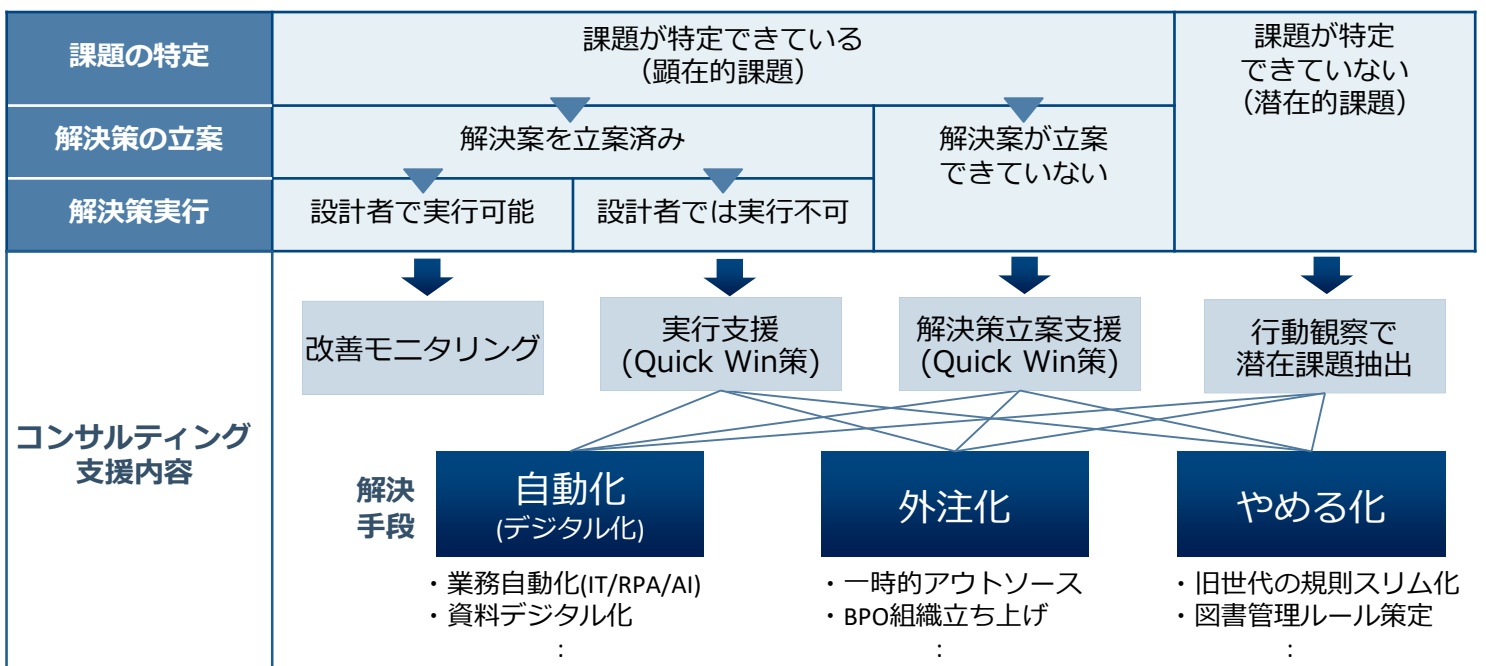
### サービスの特長

#### 1 ヒアリングや行動観察(エスノグラフィー)の実行で潜在的課題を抽出

設計部門にコンサルタントが趣き、担当者へのヒアリングや行動観察(エスノグラフィー)を実施。設計者が認識していない課題を抽出します。企業や部門の風土として無意識に実施されている慣習、何年も継続的に実行されている業務のプロセスや進め方、確認やチェックなどに関する課題を第三者の視点で明らかにします。

#### 2 課題解決策の立案から実行支援まで一気通貫で支援

課題解決策の立案から解決の実行までを一気通貫で支援することにより、改善成果の早期刈り取り(Quick Win)を行うとともに、次なる改善を創出する下地を確立します。



BPO: Business Process Outsourcing

RPA: Robotic Process Automation

## お客様の課題

次のようなお悩みを持つお客様にお勧めします。

- 企画部のトップダウンで働き方改革を推進しているが、声かけのみで終わってしまい職場に浸透しない。
- 設計部門主導では近視眼的な「実行しやすい課題」ばかりとなり、全社最適の改善につながらない。
- 課題を特定しても、最新のAIやデジタル技術による業務の自動化、業務の見直しによる低付加価値業務のアウトソーシングなど、効果的かつ着実な改善策の立案や推進ができない。

## 潜在的課題を浮き上がらせる個人別エスノグラフィー（行動観察）

	顕在的課題 (インタビュー調査)	潜在的課題 (個人別エスノグラフィー(行動観察))
<b>表面的課題</b> (短期解決策)	<b>インタビュー対象者が意識している「表面的事象に対する課題」</b> (例) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書管理が不十分</li> <li>● 顧客対応が管理できていない</li> <li>● 業務フローに問題がある</li> </ul>	<b>アセスメントによって明確化される「表面化していなかった課題」</b> (例) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 暗黙に前提としている設計者の価値観</li> <li>● 無意識の行動様式</li> <li>● 部門内の人間関係</li> <li>● 情報サービスと業務(人)の関係</li> </ul>
<b>本質的課題</b> (中長期解決策)	<b>表面的事象を集約した本質的な課題</b> (例) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 貴重な資産である設計図書を会社として管理下に置いていない</li> <li>● 顧客対応を整流化する部門がない</li> <li>● 業務フローを見直す機会がない</li> </ul>	<b>誰も課題と認識していなかった本質的な課題</b> (例) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 代々受け継いだ古い働き方と評価</li> <li>● 設計者がコピー・待ち・製本まで実施</li> </ul>

## 標準的なコンサルティングプロセス

プロセス	タスク	成果物
<b>目標確認</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務概要と働き方改革の目標を確認</li> <li>● 既存の改善の取り組みと進捗・課題を確認</li> <li>● 先行ターゲット部署、改善責任者の任命</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改善目標定義書</li> <li>● 改善PJ定義書</li> </ul>
<b>課題の特定</b> (業務アセスメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務課題ヒアリングによる顕在的課題の特定</li> <li>● 行動観察（エスノグラフィー）による潜在的課題の特定</li> <li>● 課題インパクトの明確化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務課題一覧</li> <li>● 業務アセスメント報告書</li> </ul>
<b>解決策の立案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題解決策の立案（自動化、外注化、やめる化）</li> <li>● 解決策の効果、難易度の評価</li> <li>● Quick Win解決策(早期実行可能な解決策)の抽出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題解決方針一覧</li> <li>● Quick Win実行計画書</li> </ul>
<b>解決策実行</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Quick Win解決策の実行</li> <li>● 改善結果評価</li> <li>● 中期解決策に対する関係部署連携体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Quick-Win成果物（自動化ツール規則等）</li> <li>● 改善結果報告書</li> </ul>
<b>全社展開</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第2ターゲット部門の選定と、既存解決策の適用</li> <li>● 全社改善モニタリングKPI策定（標準化）</li> <li>● 中期課題に基づく全社IT・マネジメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改善モニタリング組織</li> <li>● 全社中期課題改善PJ</li> <li>● BPO専門組織設立</li> </ul>

●サービスの仕様は、改良のため変更することがあります。ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。 ●詳細な見積条件などはwebサイトから、または弊社担当営業へお問い合わせください。

## 株式会社 日立コンサルティング

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-4-1 麹町大通りビル11F 電話番号(代表) : 03-6779-5500

<http://www.hitachiconsulting.co.jp/>